

（表）

事業系一般廃棄物の減量に関する計画書

令和〇年 6月 1日

（あて先）佐賀市長

佐賀市内の事業所

多量排出事業者

住所 ○〇市○町○番○号
 事業者名 ○〇ビル
 氏名 代表取締役 佐賀太郎

廃棄物減量等推進責任者

住所 ○〇県○市○町○番○号
 事業者名 ○〇管理事務所（株）
 役職・氏名 管理部長 佐賀次郎
 電話番号 0952-〇〇-〇〇〇〇

佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例第5条の2第2項の規定により、事業系一般廃棄物の減量に関する計画を作成したので、提出します。

建築物の属性		事業者名	
名称	○〇ビル	○〇銀行○支店	
所在地	○〇県○市○町○番○号	○〇保険○支店	同じ敷地内において共通の用途に使用され、廃棄物の処理及び保管が一体として行われている事業所（建築物）は、すべて記入してください
所有者名	代表取締役 佐賀太郎	○〇旅行○支店	
建築物の規模	地下 1階	○〇商事○支店	
	地上 5階	○〇不動産	
建築物の用途	延床面積 2,000㎡	○〇管理事務所（	
	事務所 7社 1,200㎡	○〇店	建物以外から廃棄物が発生する場合、「敷地面積」に変更して記入してください
	店舗 5社 800㎡	□□店	
	その他 社 ㎡		
共用部分	㎡		
従業員数	250人		

現在取り組んでいる減量等の具体的方法	今後取り組もうとする減量等の具体的方法
1 紙類は新聞、段ボール、雑誌に分別し、再資源化している。 2 不要なコピー用紙の裏紙に印刷。 3 生ごみは水分を切って捨てる。	1 紙類の分別が未実施の事務所・店舗にも再資源化への取り組みを促す。 2 ペーパーレス会議の導入を検討。

（裏）

(事業所又は建築物の名称 ○○ビル)

当年度計画

令和○年度 (令和○年4月 ~ 令和△年3月)

前年度の廃棄物処分量が36トン未満の場合、記入不要

種類	廃棄物発生量 トン/年	処理区分				% (B/A)
		再生利用等		廃棄物		
		資源化量 トン/年	資源物回収業者名	処分量 トン/年 (A-B)	収集運搬業者名	
小数点以下第2位を四捨五入						
新聞	8.0トン	8.0トン	○○商店	0.0トン		100.0%
雑誌	7.0トン	7.0トン	○○商店	0.0トン		100.0%
段ボール	9.0トン	9.0トン	○○商店	0.0トン		100.0%
OA用紙類	20.0トン	12.0トン	○○商店	8.0トン	○○会社	60.0%
機密書類	9.0トン	3.0トン	△△商店	6.0トン	○○会社	33.3%
その他の紙	5.0トン	4.0トン	△△商店	1.0トン	○○会社	80.0%
厨芥類	21.0トン	0.0トン		21.0トン	○○会社	0.0%
布類	1.0トン	0.2トン	□□資源(株)	0.8トン	○○会社	20.0%
計	80.0トン	43.2トン		36.8トン		54.0%

前年度実績

リサイクル

令和●年度 (令和●年4月 ~ 令和○年3月)

ごみ

種類	廃棄物発生量 トン/年 (A)	処理区分				資源化率 % (B/A)
		再生利用等		廃棄物		
		資源化量 トン/年 (B)	資源物回収業者名	処分量 トン/年 (A-B)	収集運搬業者名	
新聞	8.0トン	7.2トン	○○商店	0.8トン	○○会社	90.0%
雑誌	7.5トン	6.8トン	○○商店	0.7トン	○○会社	90.7%
段ボール	9.3トン	8.5トン	○○商店	0.8トン	○○会社	91.4%
OA用紙類	20.5トン	8.0トン	○○商店	12.5トン	○○会社	39.0%
機密書類	9.0トン	0.0トン		9.0トン	○○会社	0.0%
その他の紙	2.4トン	1.4トン	△△商店	1.0トン	○○会社	58.3%
厨芥類	25.2トン	0.0トン		25.2トン	○○会社	0.0%
布類	1.1トン	0.0トン		1.1トン	○○会社	0.0%
計	83.0トン	31.9トン		51.1トン		38.4%

包装紙、はがき、封筒、
名刺サイズ以上の紙 など

わからない場合、収集運搬業者
にご確認ください